第24号
平成30年9月

関東だより

小松工業高校同窓会関東支部

関東だより編集委員会
発行責任者　石川隆治

総会開催のお知らせ

小松工業（実業）高校同窓会関東支部の第２１回総会・懇親会が１１月２４（土）に開催されます。

詳細は同封の案内書をご覧になり、同封のハガキに出・欠、氏名等を記入し、期日までにお忘れなく返信して下さい。

ミニ同窓会開催

昨年は関東支部の総会予定がないため、各種ミニ同窓会の開催を計画しておりましたが、前回に続き今年開催された１件を報告致します。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

３５年電気卒ミニ同窓会

山本幹夫（昭和３５年Ｅ）

今回で２回目となるミニ同窓会を４月２０～２１日箱根大平台温泉にて開催しました。

参加者はメンバー６名のうち５名（１名は不幸があり欠席）でした

当日は初夏を思わせる好天に恵まれ［萌黄の彩り］と［小鳥と河鹿蛙］の鳴き声につつまれた旅荘で、心ゆくまで温泉を堪能しました。

高校時代、故郷、携わってきた仕事のこと、近況などの話に花が咲き夜の更けるのも忘れる程でした。

とくに昨年１０月、クラス会が芦原温泉であり、送られてきた写真を見ながら［これは誰だ］［随分変わったなぁ］など、卒業してからまもなく６０年、時の流れを実感した。

また、４１名中７名が鬼籍に入っている。こんなことから［元気なうちに］が口癖となったクラス仲間でした。

今年はみんな（喜寿）を迎える年でもあることから、秋頃に再度開催しようということになりました。

前例左から西野直之、無量江武、山本利為、後列左から山本幹夫、中谷成人

全国大会の応援記

ボウリング

昨年１２月の応援に引き続き、川崎グランドボウルで開催された第４２回全日本高校ボウリング選手権大会の応援に行ってきました。

今回は母校より個人戦に３選手が出場し、予選３回戦計９ゲームで決勝進出を争うものでした。

男子は１８８人が参加し、上位２８人が決勝進出するものですが、１回戦での成績では決勝進出ラインに入っていた選手がいたものの、後半のスコアが伸びず、３人の中の最上位でも６３位という結果に終わりました。

それでもエース玉田力也選手の平均スコアは１９１というハイアベレージです。なお、優勝者のアベレージは２２７点です。

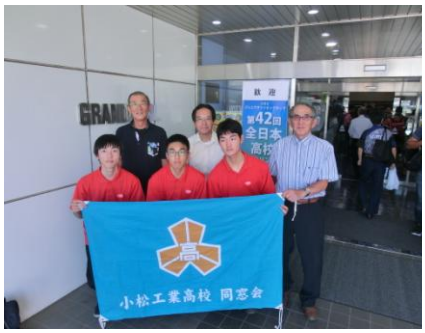
予選終了時、引率の先生やコーチの方と挨拶させていただきましたが、２年生の有力選手が２人おり、１２月の全国大会チーム戦の活躍に期待したいと思います。

今回は関東支部より３人の応援でした。（石川支部長、世戸幹事、寺越）

選手は写真の左から、角政樹君（３年）、鎌谷純暉君（２年）、玉田力也君（２年）です。

寺越健太郎
（昭和４７年Ａ）記

玉田選手の投球



会員からの投稿

回り道も良し

山下哲郎
昭和39年E

就職時、地元で大きな会社があった。電気の仕事ができると思って就職試験を受け、ここに入れた。小松製作所粟津工場であった。

よかったと思っていたら、配属が板金であった。ちょっと違和感を感じながらも、3か月の実習で溶接の作業をみっちり教えてもらった。正式に配属になり、この仕事を1年近くしながら、その間、板金、溶接、半自動溶接や、溶接資格の検定の講習や試験を受けた。

動力の人を見ると羨ましも感じた。電検二種を取ろうと思い、勉強を始めた。大きな工場では電気に携わるには二種が必要であった。

会社に、社内教育の制度があり、これに受験して、幸いにも受かり、二年間勉強できることになった。学校でも、時間があれば、電検の勉強も続けた。

意に添わなくても、仕事を一生懸命やっていれば無駄にならないと思ったのは専門学校に入ってからのことです。学校では大半が機械系の授業が多かったが、板金でやっていた作業、講習や経験が参考になった。冶金の話では溶接の溶けている時の状態が冶金の一種であったことや、強度の話でも、非常に参考になったからである。

学校を卒業し、希望を出し川崎工場に転勤して、生産技術部設備課動力係に配属となり、やっと念願の電気関係の仕事に就けた。動力係で半年位で制御系(弱電)に担当が変わり生産設備の保守及び管理であったが、年次点検等は配電(強電)の作業に当たった。

この仕事においては、溶接は直接必要でなかったが、バックデータのように役に立った。

以後、周り道も無駄ではないとの思いは変わらず、直接仕事に関係ない仕事でも、興味を持って行った。

最初に入った板金係のお世話になった人々には1年で去り、この話をする機会もなく、申し訳なく思うと同時に感謝しています。

その後、製品の移管と共に小山工場に転勤になり、五十歳を超えて、やっと二種の試験をパスして、小山工場の電気主任技術者を4年ほどやらせてもらった。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

決心の付かない日々

昭和46年電気科卒業の福岡徹と申します。関東に出て来て33年になります。

趣味の話を致します。

学生の頃に原付の免許を取り、34歳の頃に一旦バイクに乗る事を諦めて居たのですが、転勤先の上司から「レースに出るのでサポートをして欲しい」と頼まれ、軽い整備は出来るので、少しばかりお手伝いをさせて頂きました。

その上司が転勤し、後任の室長に「Fさんはバイクの話が分かる」と申し送りがあった様で、着任時から連日の様に「ツーリングに行きましょう」と誘われたのですが、その都度乗る車両が無いとか、勤務の都合が合わない等の苦しい言い訳をしながら断り続けていた。

しかし、余りに熱心に勧められるので、取り敢えず同好会を作り、ツーリングの計画や宿の手配を行う役割をしてご勘弁頂いたが、室長も同好会の仲間に押され、とうとう「業務命令」を発動させてきた(笑)。

バイクを降りた理由は、自分の技量に限界を感じていたからと、友人を亡くしたからで「整備は続けるが、バイクは乗らない」墓前で話したのに、10年も経ずに覆した事は、少なからず反省している。

ただ、その友人に「お前の分まで楽しんで生きる」と言ってから10年近く経ったので「そろそろ乗ってもいいんじゃないの？」と言ってくれているような気がした。

その頃原付のスクーターならば一数台あって2も、室長の大一型バイクに同行出来そうな車両は、未整備でタイヤのゴム質が硬化してたしか無くて、勤務の合間を縫って、取り敢えず「走る、曲がる、止まる」の基本動作は出来る状態に仕上げ、片道150km程の日光へのツーリングに室長と二人で出掛けた。

しかし、やっつけ仕事に有りがちな事で、途中で二

気筒の片側が不調になり、路上整備を繰り返しながら走行し、予定より一時間遅れで日光に到着した。

帰路は問題無く走行出来たが、生憎の雨模様となり「腕も、タイヤもお粗末なので、雨中走行は６０ｋｍ前後でお願いします」と伝えても、室長のＢＭＷは１０分もしない内に８０ｋｍに速度が上がっていた（苦笑）。

このツーリングで、１０年振りに乗り「この人と走るならば、もう一度本気で乗っても良いかな?」と、思った事は今でも忘れない。

その後、５０ｃｃのカブで２４時間に１０００ｋｍを走ると言うイベントに挑戦したり、１０００ｃｃのシャフトドライブの車両を手に入れたりして、関東近県の温泉巡り等をしながら、順調にバイクライフを楽しんでいます。

車もバイクも自分で手入れをするので、整備と車検の費用は実費のみです。

その為、引き取る台数も増え、家族からは「１年間に１台づつ乗っても、（身体が動く内に）全部乗り切れるの?」と言われる始末、いずれは処分せねばと思いながらも、集めた時の思い出が詰まる車両に。決心の付かない日々を送っています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

小さな後継者

荒又頼子（昭和４７年Ａ）

私が生まれ育ったところは、人口一万人足らずの小さな温泉町今は加賀市に合併されて加賀温泉郷の一つになりました。

高校進学と共に小松駅を利用しての通学、その頃は小松駅周辺も賑わいおおきな街でした。冬の降雪時には長靴で家を出ても小松には雪が無く変えの靴を持参した思い出もあります。

進学と同時に御稽古を始めたのが茶道です。お転婆者の私はなぜか？静寂なる御稽古を始めたくて本家が茶道具の漆器を扱っていたからかどうかは分かりませんが同級生と共に門をたたいたのであります。

利休百首には「その道に入らんと思う心こそ我が身ながらの師匠なりけれ」まずはその思いを頂いたことが嬉しく思い出します。

それから半世紀休まず続けて参りました。十五年前に自宅を新築した時に主人からのプレゼントとして四畳半の茶室をプラスしてもらいました。自宅での御稽古が始まり月一回の御稽古が今では毎週水曜日は出稽古、月四回の自宅稽古で教える立場にかわりました。

「継続は力なり」身を以ての経験です。そして今三歳になる孫娘に茶道を教える喜びを噛みしめています。決して子供に教えることは容易くないですが成長を見守られる事に感謝をしているこの頃です。

皆様も趣味をお持ちのことでしょう。幾つになっても好奇心を持ち続け学べる楽しさ、生きがいに繋がっているのではないでしょうか。

どの世界でも後継者不足、いかに興味を飽きさせずに続けさせるか、これからの課題です。

※写真はお茶の仲間たち、前列右から２番目が孫娘と私です。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

創立70周年記念事業（校門）

母校創立８０周年記念事業

小松工業学校が昭和14年に創立され、幾多の変遷を経て、小松工業高校は来年80周年を迎えます。

本部同窓会の記念事業実行委員会は、母校の教室内に大型ディスプレイ設置や部活振興事業推進のため校外移動用車両購入等を行います。

同窓会会員には上記状況にご理解を賜り、既にご案内のご寄付を宜しくお願いいたします。

振込用紙紛失の方は下記にお願いいたします。（手数料は負担願います）
ゆうちょ銀行　口座番号 00740-2-42278
加入者　石川県立小松工業高校
　　創立80周年記念事業

幹事会

今年２回目の幹事会が８月２５日、ＪＲ田町駅前の「海鮮問屋地魚屋」にて行われた。当日は猛暑にも関わらず、１２名の幹事が集結した。

主な議題は、１１月の総会・懇親会の開催準備である。前回の反省を踏まえて、タイムスケジュールを見直したり、各幹事の役割分担の確認をした。

総会開催前には、幹事３役等で会場にて最終調整プチ幹事会を行う。

小松ロケのＴＶ放送

ＮＨＫドラマ「いよっ！弁慶」放送は１０月３１日（水）ＢＳプレミアムにて午後９時から。舞台はなんと石川県小松市！皆さん是非ご覧ください。小松駅や馴染みの市内が映るそうです。（情報提供：寺越）

全国大会の主な結果

① 全国ものづくりコンテスト

昨年１１月広島で開催された全国大会旋盤部門で、土山稜人さん（当時機械科３年）が、旋盤部門で日本一に輝いた。

② ウエートリフティング

インターハイが三重県亀山市で行われ５３ｋｇ級で中本唯人選手（３年）が、スナッチ８７ｋｇ、ジャーク１１２ｋｇ、合計１９９ｋｇで２位に５ｋｇの大差をつけて優勝しました。

笑顔で成功
中本唯人選手
53kg級で優勝

また、７７ｋｇ級で坂下碧選手が１３位と検討しました。

③ 少林寺拳法

インターハイが三重県亀山市で開催され、団体演武（６人で行うもので、技の内容、表現力、きれいにそろっているかなどが審査の対象）で、母校は８位入賞しました。また組演武（２人１組）では１５位でした。

④ ボウリング

１面に記載。

関東支部の新人会員紹介

今春、卒業生が就職や進学で左記４名の方が関東地区で生活を始めています。

大塚匠さん（電気）
鈴木和稔さん（電気）
通次秀人さん（機械）
幸前晴彦さん（建設）

今年の総会には、林校長先生や岩田先生も出られますので、新人会員も出席されますよう期待しております。

連絡事項

●寄稿・ご意見等

関東だよりへのご意見や投稿をお待ちしています。投稿内容は、８００～１０００字程度で、仕事・家族・最近思うことでもなんでも結構です。

●同好会活動

スポーツや芸能など有志で活動したい方是非ご連絡下さい。

●情報提供

母校や同窓会のニュースをお伝えしており、現在約５０名の方が登録されています。

ご希望の方はＰＣ又はスマホのメールアドレスを左記まで随時連絡して下さい。

192-0372 八王子市下柚木２の２２の２７石川隆治
ryuji27@ga2.so-net.ne.jp

同窓会の動き

●関東支部

・８月２５日：幹事会
・９月関東だより発行
・１１月２４日（土）
　総会・懇親会
・平成３１年１月幹事会
・平成３１年３月関東だより発行

●本部

・７月２日：総会・懇親会
・８月：会報発行
・平成３１年１０月
　創立８０周年記念式典

●白山能美支部

・７月１日：総会・懇親会

●金沢支部

・

●加賀支部

・

●中京支部

・８月５日：総会・懇親会

●関西支部

・１０月２０日：総会・懇親会

関東だよりは、関東地区在住の同窓会会員のために発行しています。ご意見、ご投稿又は住所を変更された方、紙面広告を希望される方は下記までご連絡ください。
編集担当、総務幹事：中屋豊司
住所：〒235-0041　横浜市磯子区栗木 1-21-10
TEL・FAX：045-774-9140
E-mail：to-nakaya.f@abeam.ocn.ne.jp